

# 平成30年度 小松市予算のあらまし



**ふるさとこまつをさらに進化！まちの総合力とブランド力をアップ！**

## もくじ

	ページ
1. 予算ってなに？	1
2. 平成30年度の予算はいくら？	2
3. どんな収入があるの？	3
4. 予算は何に使うの？	6
5. 借金（市債）はいくらあるの？	9
6. 貯金はいくらあるの？	9
7. 市民一人当たりどのくらいの予算が使われているの？	10
8. 主な施策の概要	11

## 1. 予算ってなに？（予算の仕組み）

地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、1年間（4月1日から翌年の3月31日まで）の税金や補助金などの収入と1年間の行政サービスに使われる金額を見積ります。この見積りのことを「予算」と言います。

### Q. どのような予算があるの？

市の予算は、使う目的によって一般会計、特別会計、企業会計に区分しています。

- 一般会計……税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。
- 特別会計……国民健康保険や介護保険など特定の事業をするために、一般会計とは別に保険料など特定の収入を集めて運営する会計です。
- 企業会計……上下水道や病院で、民間企業のように料金収入などの事業収益により運営する会計です。

### Q. どうやって予算が決まるの？

市長が予算案をつくり、市議会の審議・議決を経て決まります。1年間の予算で一番最初に決まる予算を「当初予算」といいます。

### Q. 年の途中で予算を変えることはないの？

変えることがあります。「補正予算」といいます。当初予算を変更する必要があるときは、市長が予算の変更案をつくり、当初の予算と同じく市議会の審議・議決を経て変更します。

### Q. 予算を使ったあとは？

年度が終わり、1年間の入ってきたお金と使ったお金の結果を「決算」といいます。年度が終わった後、決算書を会計管理者（お金の出し入れを管理する職員）がつくり、市長が市議会の認定を受けます。

## 2. 平成30年度の予算はいくら？

### Q. 会計別の予算はいくら？

一般会計	453億9,000万円	(前年度比 △17億1,665万5千円 3.6%減)
特別会計	309億2,960万円	(前年度比 △19億7,490万円 6.0%減)
企業会計	235億 720万円	(前年度比 + 3億8,110万円 1.6%増)
全会計	998億2,680万円	(前年度比 △33億1,045万5千円 3.2%減)

・内訳表

(単位：百万円)

		30年度	29年度	増減額	増減率
一 般 会 計		45,390.0	47,106.7	△ 1,716.7	△ 3.6 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	10,442.0	12,273.0	△ 1,831.0	△ 14.9 %
	介 護 保 険	9,938.0	9,815.0	123.0	1.3 %
	公 債 管 理	9,089.1	9,095.5	△ 6.4	△ 0.1 %
	産 業 団 地	4.5	349.0	△ 344.5	△ 98.7 %
	後 期 高 齢 者 医 療	1,456.0	1,372.0	84.0	6.1 %
	小 計	30,929.6	32,904.5	△ 1,974.9	△ 6.0 %
企 業 会 計	水 道	3,687.5	3,275.3	412.2	12.6 %
	下 水 道	9,813.7	10,480.8	△ 667.1	△ 6.4 %
	病 院	10,006.0	9,370.0	636.0	6.8 %
	小 計	23,507.2	23,126.1	381.1	1.6 %
合 計		99,826.8	103,137.3	△ 3,310.5	△ 3.2 %

※平成29年度は、骨格予算の当初予算と肉付予算の6月補正予算を合わせた予算です。

△はマイナスを表しています。

### Q. 予算の特徴は？

一般会計・・・歳入（収入）では、市税（税金）において個人市民税、法人市民税及び固定資産税の増収が見込まれるため、前年度比6億円の増となっています。  
歳出（支出）では、公立小松大学の開学に伴う大学運営費などによる補助費等が前年度比7.9億円の増となったほか、エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの建設が最終年度(6月竣工予定)になることから、普通建設事業費が前年度比26.2億円の減となり、全体で前年度比17.2億円の減となりました。

特別会計・・・国民健康保険は、財政運営の実施主体(保険者)が石川県に移行することなどにより、前年度比18.3億円の減となり、介護保険、後期高齢者医療の2つの会計では、高齢化の伸展や医療の高度化による介護サービス費や医療費といった社会保障費の増加などにより前年度比2.1億円の増となっています。  
産業団地は、正蓮寺エリアの産業団地が完成が迫っており、前年度比3.4億円の減となっています。

企業会計・・・下水道では、浸水対策として九竜橋川ポンプ場を増設するとともに、水質保全のため中央浄化センター水処理施設の更新工事を実施します。  
市民病院では、心臓血管造影装置の更新、南館2階(精神科病棟)を改修します。

### 3. どんな収入があるの？

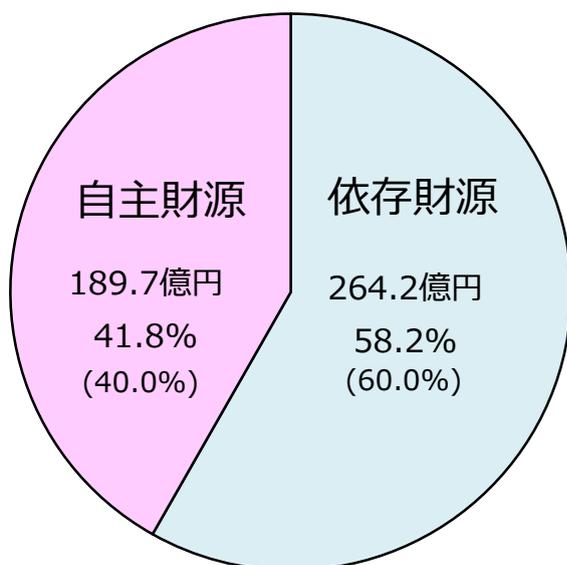
自主財源	市税	皆さんが納めた税金です。	161億2千万円
	負担金や使用料	施設の使用料や保育料などです。	7億8千万円
	繰入金	年度調整のため、貯金から取り崩す額です。	9億2千万円
	諸収入など	資源ごみ売却収入など他に区分されない収入です。	11億5千万円
依存財源	国・県支出金	国や県からの補助金です。	104億7千万円
	地方交付税	全国で一定の行政サービスを提供するために国や県から	67億5千万円
	譲与税・交付金	交付されるお金です。	31億7千万円
	市債	銀行などから借り入れる市の借金です。	60億3千万円
合 計			453億9千万円

#### Q. 自主/依存財源の割合は？

「自主財源」とは、市が自主的に集めることができる財源です。市税、負担金や使用料、繰入金などがあります。

「依存財源」とは、国や県により決定される財源です。国・県支出金、地方交付税、地方譲与税、市債などがあります。

#### 平成30年度予算 自主・依存財源割合



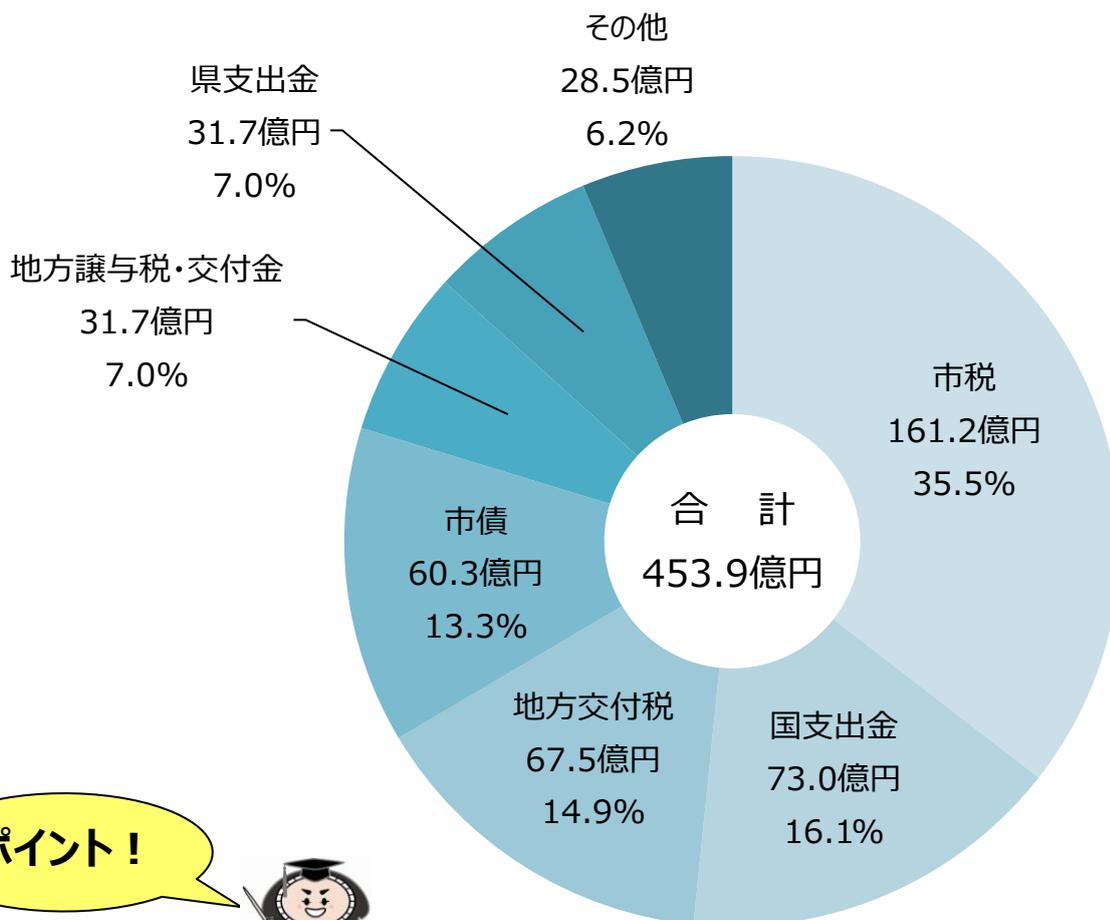
**ポイント！**

小松市の一般会計の収入のうち、  
約4割が「自主財源」です。  
約6割が「依存財源」です。



※( )内は、H29年度の数値

## Q. 一般会計収入の内訳は？



### ポイント！



- 市民の皆さんが納める税金が、収入の35.5%を占めます。
- 地方交付税は公立小松大学が開学することなどにより、前年度比4.5億円の増となっています。
- 国支出金は認定こども園・保育園など子育てに必要な経費が増加しているものの、エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの建設が最終年度になることに伴う建設事業の減少などにより、前年度比20.4億円の減となっています。
- 市債（借金）は発行の抑制に努め、前年度比2.5億円の減となっています。

### ・市税の内訳

項目	金額 (億円)	対前年比
・固定資産税（土地や家屋を所有している人が納めます）	67.5	+ 0.6%
・個人市民税（所得に応じて納めます）	57.0	+ 0.5%
・法人市民税（会社の利益に応じて納めます）	17.5	+ 44.6%
・軽自動車税（軽自動車を持っている人が納めます）	2.7	+ 4.7%
・市たばこ税（タバコを買った人が納めます）	6.9	△ 2.8%
・その他（入湯税や都市計画税）	9.6	△ 0.2%

## ・国・県支出金

特定の目的（道路をつくるなど）のために国や県から交付されます。

・国庫支出金	72億9,948万円	👉
・県支出金	31億6,397万円	👉

## ・各種交付金の内訳

・利子割交付金	3,000万円	👈
・配当割交付金	7,000万円	👉
・株式等譲渡所得割交付金	6,500万円	👈
・地方消費税交付金	21億円	👈
・ゴルフ場利用税交付金	6,200万円	👉
・自動車取得税交付金	1億1,000万円	👈
・地方特例交付金	7,100万円	👈
・交通安全対策特別交付金	1,400万円	👉
・国有提供施設等所在市助成交付金	3億円	👈

## ・地方交付税

地方自治体の税収の不均衡を調整し、全国どの地域も一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されます。金額は、自治体の財政状況によって決まります。

・普通交付税	60億8,000万円	👈
・特別交付税	6億7,000万円	👉

## ・地方譲与税

国税として徴収した収入の一部を一定の基準により地方自治体に譲与されます。

・自動車重量譲与税	2億4,000万円	👈
・航空機燃料譲与税	1,000万円	👉
・地方揮発油譲与税	9,800万円	👉

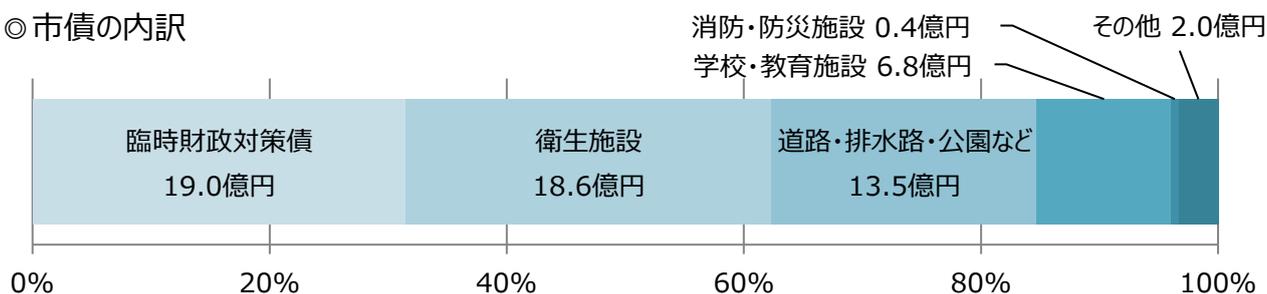
## ・その他の収入

・分担金及び負担金（保育料など）	1億7,458万円	👉
・使用料及び手数料（施設使用料や住民票手数料など）	6億382万円	👉
・財産収入（土地などの売却収入や基金の利子など）	1億6,866万円	👉
・繰入金（基金からの繰り入れ）	9億2,298万円	👉
・繰越金（前年度からの繰り越し）	1千円	👉
・寄附金（個人版・企業版ふるさと納税など）	2億8,074万円	👈
・諸収入	7億268万円	👈

## Q. 借金をするのはなぜ？

道路や学校などの公共施設の整備には一度に多額の経費がかかります。そのお金を整備する年度の予算だけを使った場合、施設は長く使われるのに整備に必要なお金は、その時の市民だけが負担することになってしまいます。長期に借入れる借金には、将来施設を利用する市民の税金で支払うことにより、世代間の負担を公平にするという役割があります。

◎市債の内訳



## 4. 予算は何に使うの？

### 義務的経費

人件費	51億3,836万円	✳
扶助費	95億7,386万円	➡
公債費	61億8,970万円	✳
小計	209億192万円	

毎年、必ず支出しなければならない経費です。

- ・人件費…職員の給料など
- ・扶助費…子どもや障がい者、高齢者などの福祉や医療にかかる経費
- ・公債費…借金の返済にかかる経費

### 一般行政経費

物件費	60億290万円	➡
補助費等	27億8,796万円	➡
維持補修費	1億9,518万円	➡
一部事務組合負担金	1億1,786万円	✳
上下水道・病院への交付金	30億7,767万円	➡
小計	121億8,157万円	

施設の維持管理費や、行政サービスを行うための事務経費です。

- ・物件費…光熱水費や消耗品費、通信費など
- ・補助費等…特定の事業や研究を行う公益団体に対する補助金など
- ・一部事務組合負担金…複数の自治体が共同で事務を行う組合に対する小松市分の負担金
- ・上下水道・病院への交付金…事業の公益性から、費用の一部を国の基準に基づき負担する経費

### 投資的経費

普通建設事業(補助)	59億695万円	✳
普通建設事業(単独)	25億854万円	✳
小計	84億1,549万円	

道路や公園，防災・減災対策など，建設事業にかかる経費

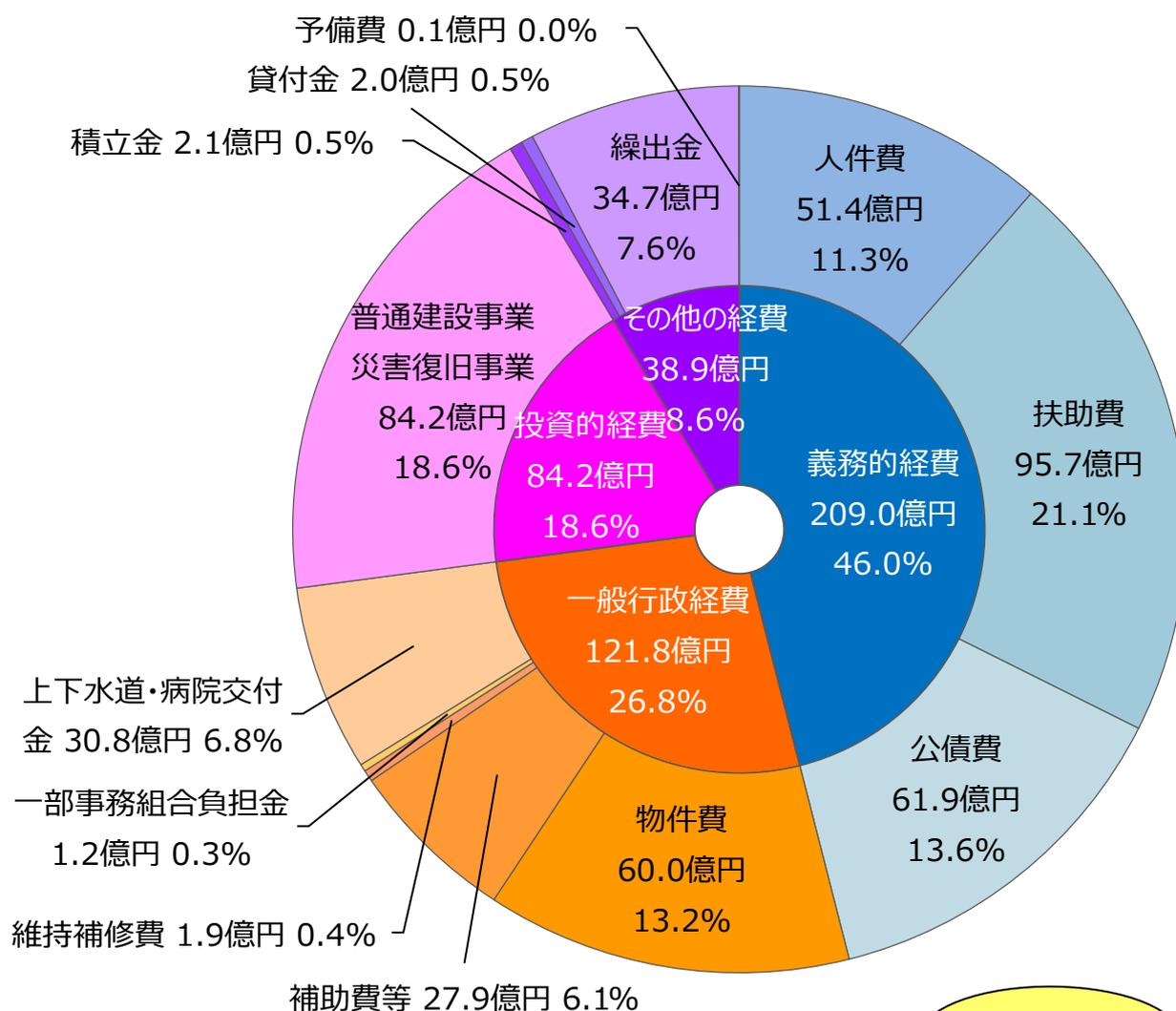
### その他の経費

積立金	2億1,558万円	✳
貸付金	1億9,766万円	✳
繰出金	34億6,778万円	➡
予備費	1,000万円	➡
小計	38億9,102万円	
合計	453億9,000万円	

上記以外の経費です。

- ・積立金…基金（市の貯金）への積立
- ・繰出金…特別会計に対し負担する経費  
国民健康保険，介護保険，後期高齢者医療の社会保障にかかる特別会計への負担経費
- ・予備費…災害など緊急に支出が必要となったときのために準備している予算

## Q. 一般会計の支出の内訳は？



### ポイント！



- 義務的経費は、前年度比2.5億円の減となっています。  
要因としては、退職職員の減少（退職手当額が前年度比1.4億円の減）や職員の機動性を高め、スリム化を推進したことなどにより、人件費全体で前年度比2.8億円を節減しました。扶助費では認定こども園に要する経費の増額等子育て支援を充実したことなどにより、前年度比3.8億円の増となっています。  
公債費は、市債の発行抑制や繰上償還による市債残高の削減に伴う利子の減少などにより、前年度比3.5億円の減となっています。
- 一般行政経費は、7月稼動予定のエコロジーパークこまつ・クリーンセンターの管理運営費などによる物件費の増（前年度比2.9億円の増）や公立小松大学開学に伴う運営費などによる補助費等の増（前年度比7.9億円の増）により、前年度比10億円を超える増額となっています。

## ① 普通建設事業費

エコロジープークこまつ・グリーンセンターの建設が最終年度を迎えるため、前年度比26.2億円の減となったものの、公立小松大学の施設整備や親水スポーツ公園の建設などにより、84.2億円と支出全体の中でも扶助費に次ぐ高い割合をめています。

◎ 普通建設事業費の内訳

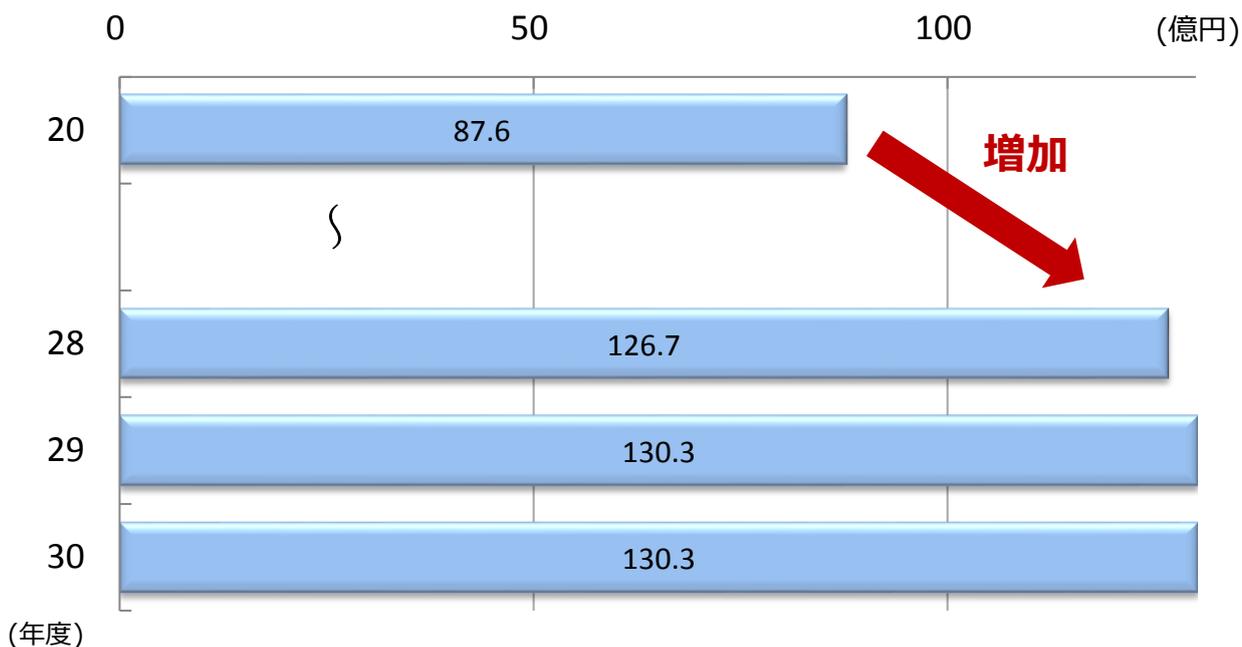


## ② 社会保障費

少子・長寿社会の進展により、社会保障費は年々増加傾向にあり、10年前と比べると42.7億円増加しています。

平成27年度から実施されている「子ども・子育て支援制度」により、教育と保育を一体的に行う認定こども園に移行する保育園・幼稚園に係る児童運営費の増加や子ども医療費の無料化等による子育て支援の増加、平成30年8月診療分から対象を拡大する障がい者医療費などにより、本年度の社会保障費は130億円超となっています。

◎ 社会保障費の推移

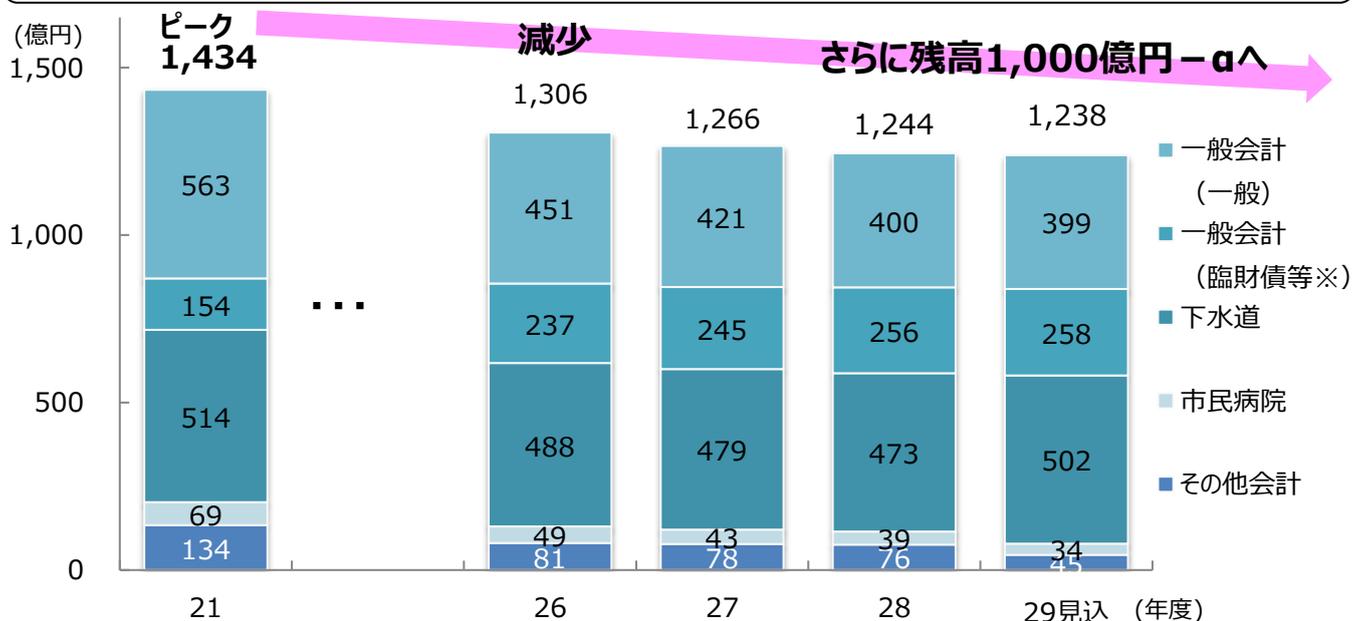


※平成28年度までは決算額，29年度は決算見込額，30年度は予算額

## 5. 借金（市債）はいくらあるの？

小松市の借金(市債)の残高は、繰上償還等を行ってきたことなどにより着実に減少しています。市債残高のピークである平成21年度から9年間で約206億円改善し、平成30年度末の市債残高見込は、全会計で約1,228億円となっています。

NEXT10年ビジョンでは平成37年度末の市債残高「1,000億円-α」を目標としており、将来負担のさらなる軽減に努めていきます。

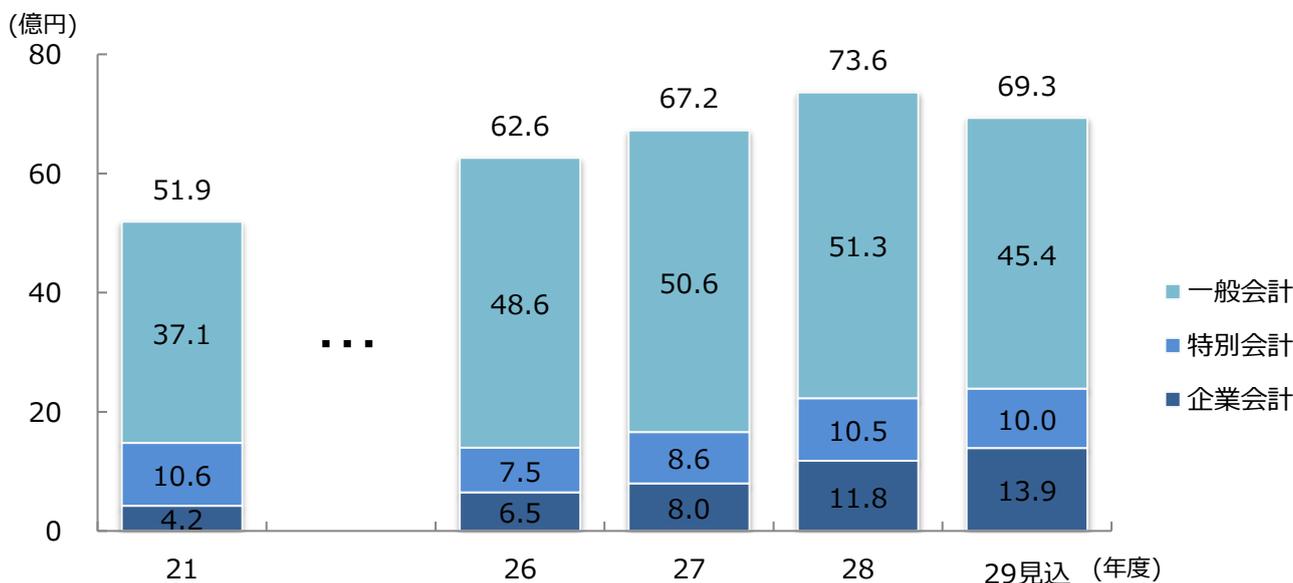


※平成29年度より、公共下水道事業会計と農業集落排水事業会計を統合し、下水道事業会計となっています。

## 6. 貯金はいくらあるの？

平成28年度末の貯金残高は全会計で73.6億円となっています。一般会計では平成29年度に整備が本格化したエコロジープークこまつ・クリーンセンターなどについて、特定の目的のために積み立てていた貯金を活用しています。また、将来を担うこどもの成長を促進する事業や障がい者・高齢者福祉の増進に繋がる事業などのために活用しつつも、貯金額は40億円～50億円台を推移しています。

今後も、借金の減少と合わせて突発的な財政需要に対応できるよう貯金の確保に努めていきます。



※平成28年度までは決算額，29年度は決算見込額

## 7. 市民一人当たりどのくらいの予算が使われているの？

小松市の市民一人当たりの市税負担額は、148,447円です。これに、市税以外の収入(P3参照)を加えると、市民一人当たり417,990円の事業を行えることになります。

それでは、どのような目的で予算が使われているか見てみましょう。

### 一人あたりの市税負担額と予算の使い道

#### 【メモ】

- ①人口(平成30年1月1日現在) 108,591人
- ②市税予算額 161.2億円
- ③市民一人当たり市税負担額 = ② ÷ ①  
148,447円
- ④歳出予算額 453.9億円
- ⑤市民一人当たり歳出予算額 = ④ ÷ ①  
417,990円



#### 【予算の使い道】

子ども・障がい者・高齢者の福祉など	134,323円
道路・公園整備など	60,620円
借金の返済	57,000円
学校教育の充実、文化・スポーツ振興など	56,147円
健康増進・ごみ処理など	46,354円
庁舎などの維持管理、戸籍・税金の事務など	29,850円
消防や防災対策など	11,724円
産業振興や観光交流など	8,949円
その他	13,023円
計	417,990円

#### ポイント!



子ども・障がい者・高齢者などの社会福祉に必要な経費が全体の約3分の1を占めています。次いで、道路・公園などのまちのインフラ整備に要する経費が続いています。借金の返済額は高い割合を占めていますが、年々減少傾向にあり、その浮いた財源を元に皆さんのサービス向上に繋がる施策を展開しています。

## 8. 主な施策の概要

平成30年度に実施する事業のうち、主なものをテーマ別にお知らせします。

### ① 人生100年時代を見据えたひとづくり

#### 公立小松大学施設整備費

6億8,530万円

末広キャンパス・粟津キャンパス施設整備



#### 松東みどり学園整備費

3,500万円

2021年4月開校に向けた実施設計等



#### 英語力向上費

4,970万円

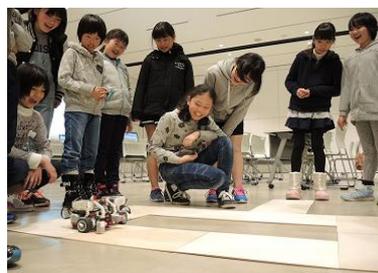
A L Tを全中学校に配置(5人→10人)



#### プログラム教育推進費

100万円

2020年必修化に先駆けたプログラム教育を実施



#### 桜木体育館改修費

2億6,000万円

大規模改修(トイレ・空調・シャワー室等)により、武道の拠点に！



#### 親水スポーツ公園整備費

3億3,360万円

前川と梯川の合流地点に親水スポーツ公園を整備



### こまつ市民大学運営費

800万円

地域で活躍するひとづくりを推進  
(キャンパス:公立小松大学ほか)



### 芦城センター改修費

1,000万円

芦城センター改修(空調・エレベーター等)の実  
施設計



## ② 2020年, 2023年に向けて 北陸のダントツのまちへ

### 小松・能美鉄道利用連携推進費

450万円

能美市と連携し, 鉄道や路線バスの利用を促  
進



### 820ステーション, 町家ハウスRyusuke

#### 管理運営費

720万円

小松駅や周辺施設利用者の集いの場, 学生  
と市民の交流の場



### (仮称)栗津温泉交流広場整備費

1億5,500万円

栗津温泉開湯1300年! にぎわいを創出する  
広場等整備



### 明峰駅周辺整備費

3,000万円

開設30周年を迎える明峰駅前広場リニューアル



### ③ 温故知新 先人に学び、感謝 そして未来へ

#### 北前船歴史文化発信プロジェクト外費

340万円

日本遺産に追加申請中！北前船の魅力を発信！



#### 遊泉寺銅山跡整備費

1億2,600万円

産業遺産「遊泉寺銅山跡」の遺構をモニュメントとする整備を支援(企業版ふるさと納税活用)



#### 九谷セラミック・ラボラトリー整備費

7,000万円

日本遺産「珠玉と石の文化」の交流拠点施設を整備(企業版ふるさと納税活用)



#### 明治150年特別展「工芸の冒険展」開催費

310万円

東京国立近代美術館工芸館巡回展ほか



### ④ みんなの笑顔いっぱい！誰にでもやさしいまちへ

#### はつらつ環境整備助成金

2,650万円

除雪機械購入やわがまちアピール等助成対象を拡大！



#### 消防団活動装備強化費

2,360万円

消防団全18分団に除雪機械を配備



## 障がい者医療費

2億7,770万円

8月診療分から助成対象に精神障がい者1級を追加！所得制限を緩和



## 子どもの任意予防接種助成費

2,300万円

対象者・対象となる予防接種及び助成金額を拡充



## 防災体制強化費

3,520万円

洪水ハザードマップ・わが家の防災ファイル更新  
(英語版対応)



## エコロジーパークこまつ・クリーンセンター建設

24億3,310万円

エコロジーパークこまつ・クリーンセンター建設（平成30年7月稼働予定）



## ⑤ 市民から信頼される市役所へ

### 納税環境充実費

440万円

スマートフォン・タブレット端末を活用した市税・保険料の支払いを可能に



### 学校・体育健康教育推進費

1,760万円

部活動指導員を全中学校に配置(10人)など



## 平成30年度小松市予算のあらましについて



### もっと詳しく 知りたい方は…

小松市HPの組織別案内（財政課）のページをご覧ください。

[発行]平成30年4月 小松市総合政策部財政課  
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地  
TEL : 0761-24-8144 (直通) FAX : 0761-24-8190  
メール : [zaisei@city.komatsu.lg.jp](mailto:zaisei@city.komatsu.lg.jp)  
HP : <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/>